

平成 28 年度第 2 回地域会議議事録

1. 日 時 平成 28 年 9 月 4 日（日）13：30～15：20
2. 場 所 久寺家近隣センター会議室
3. 出席者
 - [久寺家地区自治会・町会] 2 名
久寺家二丁目自治会長、日新自治会長
 - [久寺家地区子ども会] 3 名
久寺家マンション子ども会、久寺家三菱子ども会
久寺家二丁目子ども会
 - [北地区社会福祉協議会] 1 名
副会長
 - [久寺家地区民生・児童委員] 4 名
 - [社会福祉法人つくし野荘] 1 名
施設長
 - [久寺家地区生活お助け隊] 1 名
隊長
 - [久寺家地区まちづくり協議（以下、まち協と云う）] 7 名
会長、副会長、総務部長、企画部長、施設管理部長
広報部長、総務部副部長
 - [事務局] 2 名
 - [我孫子市 市民活動支援課] 3 名
4. 議 事
 - 新しく参加された方の自己紹介に続き入野会長から開会の挨拶があり、以下の通り議事がすすめられた。
 - (1) 28 年度活動状況について
まち協会長から 4 月～8 月間の状況について、以下の内容で報告があった。
 - ① よりみちサロン「風」の活用状況
 - 7 月は 9 日開店し、イベントは 7 回実施、来店者は 268 名。
 - 8 月は 8 日開店し、イベントは 6 回実施、来店は 318 名。
 - 利用者数は前年度に比べ順調で増加傾向、まだ未利用の方も多いため、自治会役員の方は機会があれば利用を勧めてほしい。
 - ② 地域住民の交流活動活発化・高齢者の健康維持増進を高める
 - 多世代間交流

- ・夏休み子ども会とのラジオ体操。

7/25～7/29、8/22～8/26の間、雨天の日1日を除き、9回実施した。役員の皆さんの参加もあり、毎回50人程度の参加があった。

○宿題教室

- ・8/22；習字 生徒8名、先生5名、役員5名
- ・8/24；絵画 生徒4名、先生3名、役員5名
；絵手紙 生徒8名、先生1名
- ・8/26；工作会 生徒16名、先生9名、役員5名
；手芸会 生徒5名、先生5名

- ・8/24、26；質問室 生徒延べ6名、先生1名、役員3名

- ・9月10日（土）午前10時より反省会を開催予定。

指導する人、役員などの負担もあり、今後もっと幅広くサポート人員を広げるなど体制や役割分担などの明確化が必要。

○8月23日（火）久寺家フレンズコンサート

子ども会、きらめきサロン、障がい者施設「風」が中心になり、ギター演奏と歌、障がい者チームによるハンドベル演奏が行われた。参加者は約80名（うち子ども10名程度）。この後、参加者のロコモ度テストと保健師による対応相談が行われた。この会のJCOMの取材があり、8/24午後5時40分のディリーニュースで放映された。

③ ごみ問題への対応

我孫子市からの情報をもとに、こもれび近隣センター地区の対応状況を調査し、自治会に情報提供し対策案を試作した。設置場所の有無、後片付けの問題等あり今後とも種々の対応策を検討していきたい。

④ 社会福祉協議会のエリア会議

各自治会長、ふれあい弁当・きらめきサロンの皆さんと参加。それぞれボランティアをしてくれる方の確保が問題とされていた。

(2) 28年度の今後の予定

入野会長より28年度の今後の予定につき、以下の内容で報告があった。

① 地域住民の交流活発化

10月15日（土）久寺家ウォーキングサークルの月例行事にオープン参加形式で、ポールウォーキング体験を行う。一般参加25名募集予定、近隣センターからあけぼの山公園往復を計画している。

② 講演会

- 10月8日（土）午後 場所：けやきホール
「人生100年ひとりになっても」

○11月29日(火)午前10:00~11:30 場所:久寺家近隣センター

「超高齢社会を生き生き楽しく・・・役立ちがいのすすめ」

講師 東京大学高齢社会総合研究機構(元柏市健康福祉部長)

○おおたかの森病院 心臓血管外科医の講演会を計画中

③ごみ問題への対応

○高齢者のごみ出しサポートとして、「個別収集」の市役所の対応について、まち協のセンターだよりに掲載。

○ごみ出しルールの遵守のため、班長会などを開催し繰り返し徹底。

資源ゴミの瓶や、缶は音もするので午前6時以降開始を徹底してもらいたい。

④防災対策

○9月11日(日)午前 講演会の開催と実践体験。

○見守りの充実 自治会単位での住民の状況把握に努めることが大切。近助、自助

⑤日新地区あびバスの対応

要請するも、回転場所がない等により困難な状況。

(3) 地域会議参加団体について

○我孫子市からの要請もあり、「つくし野荘」施設長さんが今回から参加された旨報告された。

○まち協会長より、この会議において各参加者は、必要に応じてそれぞれの計画、進捗状況、問題点、要望などを報告いただき、また地域の情報を報告するなど、地区内情報の共有と対応策の検討など協力を進めていきたい旨発言があった。

(4) その他の問題並びに意見交換

これまでの議事に関連して、以下の意見・報告があった。

○久寺家二丁目子供会

今年の宿題教室は、ほぼマンツーマンスタイルでのご指導で大変良かったと思う。

○久寺家三菱子ども会

学校の先生から、良い企画だと褒められた。また、今年は送迎までしていただく事が多くとても感謝している。これだと雨の日でも母親が同伴しなくても良いので、出席させやすいし周知されれば参加者も増えると感じた。

○北地区社会福祉協議会副会長

久寺家近隣センター関連の自治会の活動はよくまとまっている。他の地区では住民の数が多からまとまりにくい。またどの地区でもボランティアが不足して事業の運営が難しい状況で、社会福祉協議会についても同じ。

○つくし野荘施設長

つくし野荘は社会福祉法人で、この12月で設立10年になる。近隣センターの行事にも動ける方は参加させていただいており、昔の仲間に会えたと喜んでいる方もいるが、介護職員が不足傾向でボランティアの協力など問題点を抱えている。地域の皆さんの中で、介護など高齢化問題でお困りの方には専門職としてご相談に応じる事ができるので、どうぞお出てください。わたしどもは、地域と密着して、順応しながら、入居者の生活の充実を図っていきたいと考えている。

○まち協総務部長

カラス対策問題について、6月21日にこもれび近隣センターの吉村事務局長をお訪ねしてこもれびまち協傘下の自治会の実績を、配布別紙のとおり聞いて久寺家二丁目自治会腰原会長にご連絡した。簡易な「サークル」を活用した方式で天王台地区では、成果が上がっていると聞いているが、設置場所、用具の設置・管理などが問題点となった。

○北地区社会福祉協議会副会長

カラス対策として、「ネットの周りにロープを垂らす」（相撲のさがりのように）が有効とNHKテレビで放映された記憶があり、調査して解れば後日連絡。

○民生委員

ネットの上に「ブルーシート」で被うとカラス対策になる。手軽な方法だと思う。

○まち協会長

空き地の草が繁茂し枯れて、場所によっては大量で火事になった事もあり心配である。

この刈り取りを自治会として土地所有者に要請する必要がある。

これに関連して黒川お助け隊隊長から、空き家の害虫駆除、樹木伐採対応経過の報告があった。

○市民活動支援課長

宅地の草は消防署へ（所有者確認・通知）、空き家の管理は今年4月から市の市民安全課が担当する。

○久寺家生活お助け隊隊長

27年12月から、買い物支援業務がスタートした。担当するボランティアは現在9名で増加している。利用者は5名。

なお、お助け隊と利用者との契約書について、「公的支援を受けている方は、利用を遠慮する」旨の内容になっている。利用者5名のうち4名が公的支援を受けているが、支援のニーズは高いと判断されるので、見直しをしたい。

お助け隊は平成19年にスタートしたが、スタート時の隊員は24名。うち10名が年齢の問題もあり脱退されたが、現在隊員数は27名で会の運営は円滑に行われている。今後の増加するニーズに向けて、さらに増員を計画したい。

○日新自治会長

日新自治会は、37世帯で、3班で運営されている。小規模なので自治会の役職に就回転も速く、高齢化や共働き等もありやりくりが大変で自治会運営が次第に難しくなっている。

○民生委員

つくし野荘は、運営する看護師等の人数も少なく大変だなと感じている。地域密着型の施設ですから、高齢化に伴ういろいろな相談、施設の見学などを通して地域としてもっと関心を持ち盛上げていく必要があると思う。

○市民活動支援課長

地域の自治会などさまざまな団体が、地域について種々の話し合い情報交換の場としてとても有効な会議だと感じている。今後、学校などの参加も検討してみてもどうか。

以上